健康麻雀同好会

加藤　誓(ちかい)



高齢者の交流の機会を増やすことと、コミセン使用の稼働率を上げるために健康麻雀の会を設立して欲しいと、連絡協議会委員長より１月頃に依頼があった。

まずは設立の準備として、名東区内で実施している学区がどのように運営しているのかを教えてもらった。設立の母体を「同好会」にした方が区社協からの助成金が頂けるなど知ることが出来た。

教えて頂いた情報をもとに、会則・運営方法・同好会としての麻雀ルールを作成した。

コミセンの使用日と時間が決まった。会費や、コミセン使用時のマナーの徹底など、結構考えることがある。特に、麻雀ルールは千差万別で、初めての方に優しいルールを基本としているが、「フリテンリーチなし・十三不搭はなし・チョンボ・・」等など詳細な決めごとを網羅し、2ページにわたり記載した。

聞き取り調査で10名ほどは集まることが分かり、取り敢えず麻雀卓を2台インターネットで購入した。牌は我が家に2組ある。

3月、「健康麻雀同好会設立」のパンフレットを作成し町内会回覧やコミセン掲示をし、会員募集をした。

何と、20名以上応募があった。早速、麻雀卓3台をインターネットで追加購入し、会員から牌を3組寄贈してもらった。

4月13日（月）試行的に開催した。3卓12名と全くの初心者の女性2名と私の15名である。

初心者の指導をした。牌山を積むこと、13牌持ってきて牌を種類ごと整理すること、そして上がりの簡単な説明をした。先ずは、マナーから教える。左手は、ひざに。右手のみで牌を持ってきて右端に置く。どれを捨てたらよいか分からなくても牌を5秒以内に捨てる。「持ってきて！ハイ捨てる！」この動作を繰り返し練習する。

これが出来れば、ベテランの組に初心者を入れる。初心者は上がれなくてもゲームはスムーズに進行する。「もう立派な雀士です！」とほめる。初心者が「雀士って、何？」やはり、麻雀用語も教えないといけないようだ。

5月11日（月）から正式に同好会が始まった。会員は30名となった。

6月になると、5卓20名と盛会になった。区社協から設立助成金を頂き、会計がやっと黒字となり、コミセンの使用料も支払うことができるようになった。

９月になった。全くの初心者の方が「ロン！」と上がることが出来るようになった。

２か月ごとに成績を集計し配布。自分の成績を確認し「良々！」と喜んだり「よし！今度こそ！」と意気込んだりと勝負の面白さが増したのか、毎回１６～２０名の参加が続いている。

１月には総会と称して、会の経費で懇親会を開く予定である。

設立準備の頃の不安がうそのように順風満帆である。

同好会の役満１号は私であるが、それ以上に設立できた喜びは、まだやったことのない大役満「天和」を上がった気分である。